友生小だより

伊賀市立友生小学校　No.１４　２０２６年１１月１２日





10/30　２年生が育ててきたサツマイモの収穫を行いました。予想以上の豊作に歓声が上がりました！

11/11～12/10　「差別をなくす強調月間」



１１月１１日（水）から１２月１０日（木）は、伊賀市の「差別をなくす強調月間」です。本校でも学校マニフェストにおいて「生命・人権の尊重と豊かな人間性の育成」を人権の目標課題に設定し、年間通じて各学年や全校での取組を行っています。今回の学校だよりでは、その人権学習の取組をお伝えさせていただきます。この機会にぜひ地域やご家庭でも人権についてお子さんとお話していただければ幸いです。

6年生　松村元樹さんとの出あい



１０月１４日（水）に、6年生が「反差別人権研究所みえ（ヒューリアみえ）」の松村元樹さんとの出あい学習を行いました。１学期にもお話を聞かせていただき（学校だより No.7参照）、今回2回目の出あいとなりました。今回は、特に身の回りや社会の中にある具体的な差別の問題について、お話していただきました。性別による差別や障がいのある人に対する差別、世界にある児童労働の問題、そして生まれたところや住んでいるところで決めつけたり偏見を持ったりする部落差別の問題などについて、いろんな例をもとにお話してくださいました。身の回りにある差別や、差別につながる事柄に、気づくことの大切さを、松村さんは「解像度を上げる」とお話され、解像度を上げるため、また間違った偏見や噂を鵜呑みにせず、広めてしまうことのないようにするためには、しっかりと「知ること」「学

ぶこと」が必要だと話されていました。

ふりかえりの場や教室に戻ってからの話し合いの中では、子どもたちから、「みんなに知ってもらって、考えるために、家に帰って家族にも話したい。」「今まであまり考えていなかったけど、人権学習をして気づけたから、自分から学んで解像度を上げたい。」など、改めて差別の問題や人権を大切にする取組などに関心を持ち、積極的に学びたいという前向きな意見がたくさん出されていました。また「まずは人任せにするのではなく、自分から進んで行動したいと思いました。」という力強い意見もあり、子どもたちだけでなく私たち大人も、まず子どもたちの手本となれるように自分自身を振り返り、解像度を上げていきたいと、6年生の姿からも学ばせてもらえた学習でした。

3年生　川口素生さんとの出あい



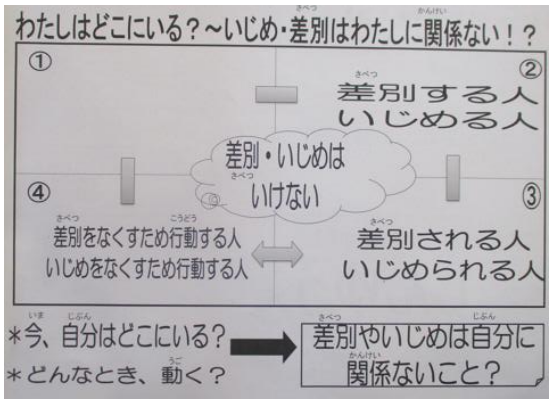
10月23日（金）に、3年生が伊賀市人権生活環境部人権政策課の川口素生さんとの出あい学習を行いました。川口さんは、「自分に矢印を向け」て、自分自身を振り返ることの大切さをお話してくださいました。決めつけや、他の誰かを勝手に自分より見下してしまうような偏見につながる心は、誰にだって少しぐらいはあるということをご自身の経験を交えて語ってくださいました。川口さんが人権に携わる仕事に就いた当初、それほど意欲がなかったころ、識字学級で出会った人たちや、学習会で出会った子どもたちとの関わりが自分自身を振り返り、変わるきっかけとなったそうです。そして「『自分を変えよう』と思ったら、そこから誰でも変えていける」「『聴く』『知る』『返す（伝える）』の繰り返しの中で、人と人とのつながりはできていく」とご自身の思いを伝えてくださいました。

学習後、子どもたちは、「（“人権”の話の中で）自由で自分らしく、幸せに生きる権利があるという言葉が心に響いた」「自分も人によって違う態度をとっているかもしれないから、気をつけようと思います」「自分は言い方がきつくなることがあるから、これから優しく言えるようになりたい」「川口さんみたいな人がいたら、ちょっと安心する」など、思い思いに出あいから感じたことや学ん

だことを振り返りました。

引き続き学級、学年でお互いの思いや考えを伝え合いながら、自分も友だちも大切にするなかまづくりの取組を進めていきます。

5年生　本江優子さんとの出あい



10月29日（木）に、5年生が「反差別人権研究所みえ（ヒューリアみえ）」の本江優子さんとの出あい学習を行いました。お話の中で左のような図を子どもたちに示され、まず「①にはどんな人が入ると思う？」と問いかけられました。子どもたちからは「見て見ぬふりをする人」「注意したいけどできない人」「いじめだと気づかない人」など様々な意見が出されました。そのうえで、自分は①～④のどこにいるか一人ひとり振り返りました。本江さんは「③差別される人やいじめられる人になるために生まれてくる人はいない。②の差別する人、いじめる人がいるから差別やいじめが生まれる」と話されました。そのうえで「①の立場にいる人は②にも、もしかしたら③にもなることがある。でも④になることもできる」と力強くお話してくださいました。また、自身の経験をもとに「自分のことを知って、自分のことを好きになっていくことが大切。人権の勉強は、自分が自分らしく、楽しく生きるためのもの」ともお話してくださいました。

学習後の振り返りでは、「自分を大事にしていきたいし、相手と意見が違ったとき、認めながら自分の意見も大切にしたい」「自分は③の立場になるのが嫌で、②の人に合わせていたことがあった」「④の場所に行くために、相手の気持ちを考えるようにしたい」など素直で様々な意見が出されました。出あい学習等で学んだことや感じたことをもとに、今後もさらに自分たちの学級を見つめ、なかまとしてつながっていくための取組を進めていきます。



学習発表会へのご参加ありがとうございました


1年生「じぶん まる!!」

11月6日（金）に実施した学習発表会には、多数の地域の方、保護者の方にご参加いただき誠にありがとうございました。子どもたちは、自分たちがこれまで学んだこと、そこから自分が考えたことなどを、なかまやお家の人にどう伝えようかと考え、話し合いながら、この日のために何度も練習を繰り返してきました。


2年生「ニコニコ探検隊」

当日は、朝の校門で出会ったとき「今日発表、緊張するわ。」と言っていた子もいましたが、本番では緊張しながらも様々な表現方法を織り交ぜながら、いきいきと楽しく、また真剣に伝えたいことを発表することができました。それぞれの発表からは「自分やまわりにいる友だちを大切にする」「自分の考えを発信し、なかまの思いを受け止める」という気持ちの強さを感じることができました。


3年生「こころのあたたかさをさがして」

今回の学習発表会を通して、表現することの楽しさを感じ、みんなで知恵や工夫を出し合いながら力を合わせてひとつのものをつくり上げる達成感、自分の思いを伝えることができた充実感を味わうことができたのではないかと思います。また、子どもたちの問いかけに対して、他学年のなかまや、さらに地域や保護者の方々の中からもお応えいただく場面もあり、子どもたちにとっては「伝えてよかった」「しっかりと返してもらえた」という手応えも感じることができたと思います。


4年生「ユニバーサル探偵 トモノ」


5年生「It's a small world」

地域の皆様、保護者の皆様には、舞台の上で、全力で取り組んだ子どもたちの頑張りにたくさんの拍手と温かいまなざしを送っていただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。


6年生「未来へつなぐ、わたしたちの平和」